

令和元年度（2019）

年報

山口県文書館

目次

I 概要		8 刊行物	16
		令和元年度の刊行物	16
1 沿革	2	9 地方調査員	16
(1) 設立	2	(1) 地方調査員会議	16
(2) 年表	2	(2) 地方調査員の文書調査報告実績	16
2 組織	10	(3) 地方調査員名簿	17
3 決算	10	10 広報・普及	18
4 施設	10	(1) 広報活動	18
		(2) 第14回中国四国地区アーカイブズ ウィーク	18
II 令和元年度業務報告		(3) 資料小展示	18
1 元年度概観	11	(4) 古文書基礎講座	19
2 収蔵状況	12	(5) 古文書専修講座	19
3 調査	12	(6) 古文書実践講座	19
4 収集	12	(7) 古文書入門一日教室・ 読み合わせ会	19
(1) 諸家文書	12	(8) 文書館活用講座	19
(2) 行政文書	13	(9) 歴史的公文書等の保存活用のため の連絡会議	20
(3) 行政資料	13	(10) 行政文書保存管理研修会	20
(4) 図書雑誌	13	(11) ウェブサイト	20
(5) その他（特設文庫）	13	11 研究活動	20
5 整理	13	(1) 研究実績	20
(1) 藩政文書	13	(2) 研究会等	21
(2) 諸家文書	13		
(3) 行政文書	14	III 令和2年度の計画	
(4) 行政資料	14	1 業務	22
(5) 図書雑誌	14	(1) 保存対策	22
(6) その他（特設文庫）	14	(2) 刊行物	22
6 保存対策	14	(3) 普及活動	22
(1) 修理（行政文書）	14	2 職員	23
(2) 資料燻蒸	14	3 地方調査員	23
7 利用	14	4 当初予算	23
(1) 文書館利用状況	14		
(2) ホームページ利用者数	14		
(3) 調査室（閲覧室）利用者数	14		
(4) 閲覧者数の状況	15		
(5) 閲覧文書点数の状況	15		
(6) 特別利用の状況	15		
(7) 貸出	16		

I 概要

1 沿革

(1) 設立

当館は、昭和34年4月に日本で初めての公立文書館として発足した。設立には、次の要因があった。

- ① 昭和27年に旧萩藩主毛利家から藩政に関する「毛利家文庫」約5万点の史料が県に寄託され、同文庫の保存と公開の措置をとる必要があった。
- ② 昭和12年に設けられた県史編纂所（終戦時に閉鎖）において収集・謄写した史料3千点の保存と利用を望む声があった。
- ③ 県立山口図書館は、明治36年の開館以来、郷土資料室の充実につとめて多くの原文書を収蔵しており、その効率的な利用が望まれていた。
- ④ 県立山口図書館郷土資料室には、県政発足以来の行政文書も収蔵されており、今後の継続的な行政文書の収集・保存・活用を図る必要があった。

これらの要望を充たす施設として、文書館の設立構想が立てられた。さらに山口県地方史学会による設立運動も行われ、昭和34年「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づく県条例によって設置された。

(2) 年表

昭和34年度 (1959)	(館長 上村忠治<図書館長兼務>)
34.4.1	山口県文書館設置条例により県教育委員会の一組織として設立される
10.1	専任職員が配置される
12.18	書庫増築工事竣工（山口図書館）、引継文書の移管作業を開始
昭和35年度 (1960)	(館長 上村忠治<図書館長兼務>)
35.4.1	閲覧業務を開始する
8.1	三浦家文書受託
11.30	「防長風土注進案12 山口宰判上」刊行
36.3.10	「防長風土注進案16 吉田宰判」刊行
昭和36年度 (1961)	(館長 上村忠治<図書館長兼務>)
36.5.16	田中義一文書受託
6.15	「山口県文書館概要」刊行
6.15	「防長風土注進案1 大島宰判上」刊行
8.31	「防長風土注進案15 舟木宰判」刊行
10.30	山口県政発足九十年記念「明治初期県政史料展」開催
11.10	「防長風土注進案13 山口宰判下」刊行
12.10	「防長風土注進案2 大島宰判下」刊行
37.1.31	「防長風土注進案17 美祢宰判」刊行
3.30	「萩藩四冊御書附」刊行
昭和37年度 (1962)	(館長 上村忠治<図書館長兼務>)
37.4.20	「防長風土注進案3 奥山代宰判」刊行
6.30	「防長風土注進案4 前山代宰判」刊行
8.8	徳山毛利家文庫受託
9.20	「防長風土注進案19 前大津宰判」刊行
11.5	学制頒布九十年記念「山口県教育史料展」開催（～11.9）
11.5	学制頒布九十年記念「山口県教育史料解説目録」刊行
12.10	「防長風土注進案5 上関宰判上」刊行
12.14	県庁行政文書年末収集開始

38. 2.10	「防長風土注進案 18 先大津宰判」刊行
3.30	「山口県文書館史料目録 1」刊行
昭和38年度 (1963)	(館長 上村忠治<図書館長兼務>)
38. 4. 1	県行政文書の移管を開始（「山口県文書取扱規程」に基づく）
6.30	「防長風土注進案 6 上関宰判下」刊行
8.31	「防長風土注進案 7 熊毛宰判」刊行
10.25	国体開催記念展「目で見る山口県の歴史」を開催（～11.3）
10.25	「目で見る山口県の歴史」刊行
12. 19	山内家文書受託
39. 1.31	「防長風土注進案 20 当島宰判」刊行
3.10	「防長風土注進案 8 都濃宰判」刊行
3.26	山口県文書館条例が公布される（施行 39.4.1）
3.26	山口県文書館規則が改正される（施行 39.4.1）
3.31	山口県文書館設置条例が廃止される
昭和39年度 (1964)	(館長 上村忠治<図書館長兼務>—7.5—木原立美<図書館長兼務>)
39. 5.31	「防長風土注進案 9 三田尻宰判上」刊行
7.20	「防長風土注進案 11 徳地宰判」刊行
9.20	「防長風土注進案 21 奥阿武宰判」刊行
10.17	近世交通史料展開催（～10.18）
12.10	「防長風土注進案 14 小郡宰判」刊行
40. 3.10	「防長風土注進案 10 三田尻宰判下」刊行
3.30	「山口県文書館史料目録 2」刊行
昭和40年度 (1965)	(館長 木原立美<図書館長兼務>)
40.6.1	山口県文書館規則一部改正
6.29	県教育委員会行政文書の移管を開始（「山口県教育委員会事務局文書取扱規程」の改正に基づく）
9.20	「文書館ニュース 1 号」刊行（以後年刊）
11.10	「豊浦藩村浦明細書」刊行
11.10	「文書館案内」刊行（以後不定期刊行）
41.3.30	「防長風土注進案研究要覧」刊行
昭和41年度 (1966)	(館長 兼清正徳)
41. 4. 1	山口県政史の編纂事業開始
5.10	廨に指定される
10.25	大村益次郎文書受託
11. 3	「防長風土注進案」の編集スタッフ、西日本文化賞を受賞
42. 3.30	「萩藩閥閥録 第 1 巻」刊行
昭和42年度 (1967)	(館長 兼清正徳)
43. 3.30	「萩藩閥閥録 第 2 巻」刊行
昭和43年度 (1968)	(館長 兼清正徳)
43. 4. 1	山口県文書館規則一部改正により、専門職員の職名が専門員となる
昭和44年度 (1969)	(館長 兼清正徳)
44. 4. 1	山口県文書館規則一部改正により、専門職員に研究職が適用される（職名は研究員・専門研究員）
45. 3.30	「萩藩閥閥録 第 3 巻」刊行
昭和45年度 (1970)	(館長 兼清正徳)
45. 4. 7	日本育英会法施行令の規定による研究所施設に指定される
46. 3.25	「山口県政史上・下」2巻刊行

3.30	「萩藩閥閥録 第4巻」刊行	
3.30	「萩藩閥閥録遺漏」刊行	
昭和46年度 (1971)		(館長 兼清正徳)
46.6.7	文部省史料館主催「近世史料担当職員講習会(西日本地区)」の会場となる	
7.1	地方調査員制度を発足させる	
47.3.1	「山口県文書館研究紀要 第1号」刊行(以後年刊)	
昭和47年度 (1972)		(館長 松村茂)
47.10.30	「山口県文書館史料目録3」刊行	
48.3.20	「山口県史料古代編」刊行	
昭和48年度 (1973)		(館長 松村茂)
48.7.23	新館舎が完成し、現在地に移転する	
7.23	新築移転記念「山口県文書館史料展」開催(～8.18)	
49.3.1	「山口県内所在史料目録 第1集」刊行(以後年刊)	
昭和49年度 (1974)		(館長 松村茂)
49.5.20	「山口県文書館史料目録4」刊行	
50.1.1	成人大学古文書解読講座に協力(以後平成11年度まで)	
昭和50年度 (1975)		(館長 田村武文)
51.1.20	「山口県史料近世編 法制上」刊行	
2.24	全国歴史資料保存利用機関連絡協議会(通称全史料協)の創立大会を開催	
昭和51年度 (1976)		(館長 田村武文)
52.1.10	「山口県史料近世編 法制下」刊行	
2.24	古文書・行政文書取扱者講習会(第1回)を開催	
昭和52年度 (1977)		(館長 田村武文)
53.2.22	古文書・行政文書取扱者講習会(第2回)を開催	
3.30	「山口県文書館史料目録5」刊行	
昭和53年度 (1978)		(館長 田村武文)
54.3.20	「山口県史料中世編 上」刊行	
3.20	「山口県行政文書仮目録戦前の部」刊行	
昭和54年度 (1979)		(館長 木梨亮一)
54.4.～11.	「萩藩閥閥録第1・2・3・4巻・遺漏」再版刊行	
5.～3.0	山口県古文書等所在確認緊急調査を実施	
10.17	全国都道府県史協議会を開催(～10.18)	
昭和55年度 (1980)		(館長 高佐原茂郷)
55.6.17	有光家文書受贈	
昭和56年度 (1981)		(館長 平田豊彦)
57.2.20	「防長寺社由来 第1巻」刊行	
昭和57年度 (1982)		(館長 松本隆馬)
57.10.20	「防長寺社由来 第2巻」刊行	
58.2.20	「防長寺社由来 第3巻」刊行	
3月	「防長風土注進案と同和問題」刊行	
昭和58年度 (1983)		(館長 山下義雄)
58.11.1	古文書解読(基礎)講座を開催(以後平成17年度まで)	
12.26	「防長寺社由来 第4巻」刊行	
59.2.20	「防長寺社由来 第5巻」刊行	
3.31	「両公伝史料仮目録」刊行	

昭和59年度 (1984)		(館長 山下義雄)
59. 6.12	県庁舎竣工記念展「目でみる萩から江戸へ」開催 (13日間)	
60. 1.16	「防長寺社由来 第6巻」刊行	
3.26	山口県文書館条例改正 (施行 60.4.1)	
3.26	山口県文書館規則改正 (施行 60.4.1)	
3.30	「県庁伝来旧藩記録等仮目録」刊行	
昭和60年度 (1985)		(館長 宮本幹雄)
60. 4. 1	副館長が置かれる (山口県教育委員会行政組織規則改正 60.3.29)	
10.29	有光家文書が県指定有形文化財に指定される	
61. 2.10	「防長寺社由来 第7巻」刊行	
3.30	「諸文庫仮目録Ⅰ」刊行	
昭和61年度 (1986)		(館長 宮本幹雄)
61.10.15	「萩藩閥閥録 第1巻」三版刊行	
62. 1.10	「萩藩閥閥録 第2巻」三版刊行	
1.30	「府県史料 山口県 1」刊行	
3.30	「諸文庫仮目録Ⅱ」刊行	
昭和62年度 (1987)		(館長 宮本幹雄)
62. 6.30	「萩藩閥閥録 第3巻」三版刊行	
11.11	「萩藩閥閥録 第4巻」三版刊行	
63. 1.14	「府県史料 山口県 2」刊行	
3.30	「諸文庫仮目録Ⅲ」刊行	
昭和63年度 (1988)		(館長 斎藤 博)
63. 7.11	「萩藩閥閥録遺漏」三版刊行	
11.30	「府県史料 山口県 3」刊行	
64. 1. 2	「萩藩閥閥録 別巻」刊行	
3.30	「徳山毛利家文庫仮目録Ⅰ」刊行	
3.30	「山口県文書館要覧」刊行	
3.30	「年報」刊行 (以後年刊)	
平成元年度 (1989)		(館長 那須 敬)
元. 9.16	開館30周年記念展示会「むら・まち・うら」開催 (～10.15)	
10.10	開館30周年記念「絵図でみる防長の町と村」刊行	
11.30	「府県史料 山口県 4」刊行	
12. 3	開館30周年記念司馬遼太郎講演会「歴史の中の防長二州」開催	
2. 3.30	「徳山毛利家文庫仮目録Ⅱ」刊行	
3.30	開館30周年記念「山口県文書館の30年」刊行	
平成2年度 (1990)		(館長 那須 敬)
2. 4.11	皇太子浩宮殿下山口県中世史研究のため来館	
11.30	「府県史料 山口県 5」刊行	
3. 3.30	「徳山毛利家文庫仮目録Ⅲ」刊行	
平成3年度 (1991)		(館長 那須 敬)
3.11.30	「府県史料 山口県 6」刊行	
4. 3.30	「徳山毛利家文庫仮目録Ⅳ」刊行	
3.31	「山口県文書館蔵行政資料目録 1940年代-1950年代」刊行	
平成4年度 (1992)		(館長 松永精一郎)
4. 5. 0	古文書専修講座を毎月開催 (以後毎年)	
6.22	有光家文書が国指定重要文化財 (古文書) に指定される	

8.13	古文書活用講座を開催（～8.19、以後毎年）	
5.3.31	「徳山毛利家文庫仮目録Ⅴ」刊行	
3.31	「山口県文書館蔵行政文書目録 1940年代完結簿冊文書」刊行	
平成5年度（1993）		（館長 松永精一郎）
6.3.31	「山口県文書館諸家文書目録1 柳井市金屋小田家文書第1分冊」刊行	
3.31	「山口県文書館蔵行政資料目録2 リーフレット・ポスター1940年代～1960年代」刊行	
平成6年度（1994）		（館長 山本 直）
7.3.31	「山口県文書館諸家文書目録2 柳井市金屋小田家文書第2分冊」刊行	
3.31	「山口県文書館蔵行政文書目録 1930年代完結簿冊文書」刊行	
平成7年度（1995）		（館長 山本 直）
8.3.29	「山口県文書館諸家文書目録3」刊行	
3.29	「山口県文書館蔵行政資料目録3 地図 1950年代まで」刊行	
平成8年度（1996）		（館長 宮本典彦）
8.6.25	山口県文書館整備構想検討会を開催（以後8.23、9.12、10.15の計4回開催）	
11.20	山口県文書館整備構想検討会報告書作成	
9.3.31	「山口県文書館諸家文書目録4」刊行	
3.31	「山口県文書館蔵行政文書目録 1910・20年代完結簿冊文書」刊行	
平成9年度（1997）		（館長 宮本典彦）
9.2.1	企画小展示「毛利元就関係文書」開催（～12月、毎月展示替え）	
4.30	「大内版妙法蓮華経板木」が県指定有形文化財に指定される	
10.2.1	文書館利用規程を改正	
3.31	「山口県文書館蔵行政資料目録4 1960年代第1分冊」刊行	
3.31	「山口県文書館諸家文書目録5 佐藤家文書」刊行	
平成10年度（1998）		（館長 宮本典彦）
10.4.21	古文書入門講座を毎月開催（以後毎年）	
6.30	「大内版法華経板木」59枚が国指定重要文化財（歴史資料）に指定される	
11.1.21	第1回文書館ウィーク開催（～1.27）	
3.31	「山口県文書館蔵行政資料目録5 1960年代第2分冊」刊行	
3.31	「毛利家文庫目録別冊1 公儀事諸控総目次Ⅰ」刊行	
平成11年度（1999）		（館長 宮本典彦）
11.4.1	全国歴史資料保存利用機関連絡協議会研修研究委員会事務局を引受け	
12.1.20	第2回文書館ウィーク開催（～1.27）	
3.23	山口県文書館規則第3条第1項改正（但書削除、土曜日全日開館）	
3.31	「山口県文書館蔵行政資料目録6 1960年代第3分冊」刊行	
3.31	「毛利家文庫目録別冊2 公儀事諸控総目次Ⅱ」刊行	
平成12年度（2000）		（館長 青木正典）
12.4.1	土曜日全日開館（9:00～17:00）を開始	
13.1.18	第3回文書館ウィーク開催（～1.24）	
3.30	「山口県文書館蔵行政文書目録 1900年代以前完結簿冊文書」刊行	
平成13年度（2001）		（館長 青木正典）
14.1.18	第1回文書館デイズ開催（～1.20）	
3.29	「山口県文書館諸家文書目録6 上関町吉田家文書」刊行	
3.29	「山口県文書館蔵行政資料目録7 1960年代第4分冊」刊行	
平成14年度（2002）		（館長 青木正典）
14.4.1	文書館資料保存修復事業・館藏品情報発信事業に着手（緊急雇用創出事業）	

12.20	「山口県文書館特設文庫目録1 新聞文庫目録(近代)」刊行
15.1.17	第2回文書館デイズ開催(～1.19)
3.31	「山口県文書館蔵行政資料目録8 1940年代以前」刊行
3.31	山口県文書館ホームページ更新(文書館・博物館・美術館情報発信事業)
平成15年度(2003) (館長 村松優一)	
15.4.1	文書館収集資料整理事業に着手(緊急雇用創出事業、～16年度)
16.1.23	第3回文書館デイズ開催(～1.25)
2.10	「山口県文書館特設文庫目録2 雑誌文庫目録(近代)」刊行
3.31	「毛利家文庫目録別冊3 諸事小々控総目次I」刊行
3.31	ホームページに画像データベース(毛利家文庫絵図・写真・袋入絵図・ポスター・リーフレット)を追加
平成16年度(2004) (館長 村松優一)	
16.10.27	第30回全史料協全国大会及び研修会を山口県総合保健会館で開催(～10.29)
10.29	山口県教育委員会事務局等公文書取扱規定の一部改正(11.1施行)
17.1.21	第4回文書館デイズ開催(～1.23)
3.31	「山口県文書館諸家文書目録7 上関町国行家・佐倉谷家・吉崎家文書」刊行
3.31	「山口県文書館蔵行政資料目録9 地図 1960年代」刊行
平成17年度(2005) (館長 木原 宏)	
17.6.9	山口県行政文書(県庁文書12,597点、郡役所文書952点)が国指定重要文化財(歴史資料)に指定される
6.10	第5回文書館デイズ開催(～6.12)
18.1.20	第1回「山口お宝展」(重要文化財「大内版法華経板木」を展示)開催(～2.12)
2.28	「毛利家文庫目録別冊4 諸事小々控総目次II」刊行
3.30	「山口県文書館蔵行政文書目録5 一郡役所文書」刊行
平成18年度(2006) (館長 木原 宏)	
18.6.1	第1回中国四国地区アーカイブズウィーク「山口県文書館史料刊行事業展」・「備後山内氏と一豊をめぐる人々」開催(～6.7)
10.8	日曜開館(月曜閉館)を試行開始
11.10	第6回文書館デイズ「御屋形様の文書ー雪舟のパトロン大内氏ー」開催(～11.12)
19.1.19	第2回「山口お宝展」(吉田松陰所用の印章)開催(～2.18)
3.30	「毛利家文庫目録別冊5 諸事小々控総目次III」刊行
3.30	「行政資料目録10 リーフレット・ポスター 1970年代～1980年代」刊行
3.30	「山口県内市町村役場文書保存状況調査報告書」刊行
平成19年度(2007) (館長 熊寄歳介)	
19.4.1	日曜開館(月曜閉館)開始
6.1	第2回中国四国地区アーカイブズウィーク「街道を行く」開催(～6.7)
10.4	徳山毛利家文庫・将軍発給文書を公開(閲覧提供)開始
11.5	国文学研究資料館アーカイブズ・カレッジ〈短期コース〉の会場となる(～11.10)
20.1.18	第3回「山口お宝展」(村上水軍関係文書)開催(～2.17)
3.31	「諸家文書目録8 平生町佐合島佐川家文書 第1分冊」刊行
3.31	「行政文書件名目録1 山口県布達達書I ー明治4～10年ー」刊行
平成20年度(2008) (館長 熊寄歳介)	
20.6.1	第3回中国四国地区アーカイブズウィーク「吉田松陰自賛肖像」開催(～6.8)
10.1	資料小展示「天璋院篤姫と長州ー文書の中の篤姫ー」(～11.16)
21.1.17	大学入試センター試験・日本史Aで当館のことが取り上げられる
3.21	第4回「山口お宝展」(鎌倉時代の塩浜絵図ー長門国正吉郷入江塩浜絵図ー)開催(～

4.19)

3.31 「諸家文書目録9 平生町佐合島佐川家文書 第2分冊」刊行

3.31 「行政文書件名目録2 山口県布達達書Ⅱ -明治11~14年-」刊行

平成21年度 (2009)		(館長 熊寄歳介)
(通年)	開館 50 周年記念として、資料小展示を「シリーズ アーカイブズを守る」という共通テーマで実施	
(通年)	文書館情報発信充実事業	
(通年)	全史料協事務局業務 (副会長 館長熊寄歳介)	
21.6.2	開館 50 周年記念として、第 4 回中国四国地区アーカイブズウィーク「天下人と毛利氏-戦国のアーカイブズ-」を開催 (~6.9)	
21.11.17	当館所蔵「吉田松陰関係資料」754 点が山口県指定有形文化財 (歴史資料) に指定	
22.3.3	大内氏山口開府 650 年「山口お宝展」協賛展示 (「足利将軍の出した文書」~4.4)	
3.31	「山口県文書館所蔵アーカイブズガイド-幕末維新編-」(開館 50 周年記念出版) 刊行	
平成22年度 (2010)		(館長 熊寄歳介)
(通年)	文書館情報発信充実事業	
(通年)	全史料協事務局業務 (副会長 館長熊寄歳介)	
22.6.1	第 5 回中国四国地区アーカイブズウィーク「長州藩幕末維新資料」を開催 (~6.6)	
8.8	行政文書保存管理研修会を開催 (102 機関 114 名参加)	
10.15	国指定重要文化財 (歴史資料)「日明貿易船旗」と「高洲家文書」118 点が当館に寄託される	
2.18	歴史的公文書等の保存活用のための連絡会議を開催 (13 市町 30 名参加)	
3.31	「行政文書件名目録3 山口県布達達書Ⅲ -明治15~19年-」刊行	
平成23年度 (2011)		(館長 熊寄歳介)
(通年)	文書館情報発信充実事業	
(通年)	重要文化財 山口県行政文書修理事業 (平成 23 年度~平成 25 年度)	
23.6.1	第 6 回中国四国地区アーカイブズウィーク「ポスター・写真・映像に見る昭和のやまぐち~昭和 38 年山口国体のころ~」を開催 (~6.5)	
8.19	行政文書保存管理研修会を開催	
11.1	歴史的公文書等の保存活用のための連絡会議を開催	
11.14~ 2.29	館改修工事につき全面休館	
3.31	ウェブページを全面的に更新し、検索データベースの件数を大幅に増やした	
平成24年度 (2012)		(館長 長谷川信明)
(通年)	重要文化財 山口県行政文書修理事業 (平成 23 年度~平成 25 年度)	
24.6.1	第 7 回中国四国地区アーカイブズウィーク「絵図と古文書で歩く萩往還」を開催 (~6.10)	
9.10	行政文書保存管理研修会を開催	
11.1	歴史的公文書等の保存活用のための連絡会議を開催	
1.31	毛利家文庫遠用物 (近世後期) の整理を終了し、8,933 点の閲覧提供を開始	
平成25年度 (2013)		(館長 長谷川信明)
(通年)	重要文化財 山口県行政文書修理事業 (平成 23 年度~平成 25 年度)	
25.6.1	第 8 回中国四国地区アーカイブズウィーク「山口県災害記」を開催 (~6.9)	
10.1	1950 年代行政文書の閲覧提供開始	
11.1	歴史的公文書等の保存活用のための連絡会議を開催 (12 市町、県ほか 35 名参加)	
3.15	徳山毛利家文庫絵図の整理を終了し、224 点の閲覧提供を開始	

平成26年度 (2014)		(館長 長谷川信明)
(通年)	重要文化財 山口県行政文書修理事業 (平成 26 年度～平成 28 年度)	
26.5.31	第 9 回中国四国地区アーカイブズウィーク「美術とアーカイブズ～古文書に見る防長の美術工芸品～」(～6.8)	
6.13	1960 年代文書の閲覧提供開始	
9.2	1970 年代文書の閲覧提供開始	
10.31	歴史的公文書等の保存活用のための連絡会議を開催	
11.7	行政文書保存管理研修会	
平成27年度 (2015)		(館長 長谷川信明)
(通年)	重要文化財 山口県行政文書修理事業 (平成 26 年度～平成 28 年度)	
(通年)	全史料協 (全国歴史資料保存利用機関連絡協議会) の調査・研究委員会事務局を引き受け (委員会 : 5/14 山口市、9/10 岡山市、11/11 大仙市) (～平成 28 年度)	
27.6.2	第 10 回中国四国地区アーカイブズウィーク「文書館動物記～書庫に棲む動物たち～」(～6.7)	
10.30	歴史的公文書等の保存活用のための連絡会議を開催	
1.19	行政文書保存管理研修会	
平成28年度 (2016)		(館長 長谷川信明)
(通年)	重要文化財 山口県行政文書修理事業 (平成 26 年度～平成 28 年度)	
(通年)	全史料協 (全国歴史資料保存利用機関連絡協議会) の調査・研究委員会事務局を引き受け (委員会 : 5/11 山口市、9/1 山口市、11/9 津市) (平成 27 年度～)。また 8.31 に「平成 28 年度公文書館機能普及セミナーin 山口」を「歴史的公文書等の保存活用のための連絡会議」と併せて開催	
28.6.1	第 11 回中国四国地区アーカイブズウィーク「いやす なおす たもつ～文書館資料にみる病気・医療・健康～」(～6.5)	
8.31	歴史的公文書等の保存活用のための連絡会議を開催 (平成 28 年度公文書館機能普及セミナーin 山口)	
1.17	行政文書保存管理研修会	
3.27	徳山毛利家文庫 幕閣発給文書の閲覧提供を開始	
平成29年度 (2017)		(館長 長谷川信明)
(通年)	重要文化財 山口県行政文書修理事業 (平成 29 年度～平成 31 年度)	
29.4.1	WEB 版明治維新資料室を開始 (県立山口図書館と共同)	
.6.1	第 12 回中国四国地区アーカイブズウィーク「防長と海 ～その記録と記憶～」(～6.11)	
10.30	歴史的公文書等の保存活用のための連絡会議を開催 (平成 29 年度中国・四国地区文書館等職員連絡会議と合同開催)	
10.30	当館蔵「朝鮮通信使記録」13 点をふくむ「朝鮮通信使に関する記録」がユネスコ「世界の記憶」に登録される	
11.24	行政文書保存管理研修会	
平成30年度 (2018)		(館長 吹屋哲夫)
(通年)	重要文化財 山口県行政文書修理事業 (平成 29 年度～平成 31 年度)	
30.6.1	第 13 回中国四国地区アーカイブズウィーク「文書館レキシノオト～「音」で読み解く防長の歴史」(～6.10)	
5.28	行政文書保存管理研修会	
10.31	歴史的公文書等の保存活用のための連絡会議を開催	
3.22	徳山毛利家文庫「木箱別置文書」の閲覧提供を開始	

- （通年） 重要文化財 山口県行政文書修理事業（平成 29 年度～令和元年度）
- 01.6.1 第 14 回中国四国地区アーカイブズウィーク・山口県文書館開館 60 周年記念
「情報と記録～つたえる つなぐ 文書館～」を開催（～6.9）
- 7.16 行政文書保存管理研修会
- 10.31 歴史的公文書等の保存活用のための連絡会議を開催
- 3.5～26 新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時閉館

2 組織（平成 31. 4. 1 現在）

- 館長（1 名）—— 副館長（1 名）—— 専門研究員（5 名）
 総務（兼務、2 名）
 嘱託職員・臨時職員（3 名）
 地方調査員（8 名）

3 決算（一般会計、単位:千円）

平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
13,135	13,696	12,467	13,045	13,603	12,568

4 施設

県立山口図書館・点字図書館等と併設、構造は RC

敷地面積 10,169 m²、延べ床面積 9,819 m²

文書館面積 1,232 m²（利用者ゾーン 209 m²、業務ゾーン 235 m²、書庫<地下 2 層・新書庫>）

図書館面積 7,855 m²、点字図書館面積 190 m²、レクチャールーム面積 542 m²

書架総延長 本館書庫 6.31km、春日山書庫 3.00km、計 9.31km

II 令和元年度業務報告

1 元年度概観

今年度の主だった活動状況を概観すれば以下のとおりである。

アーカイブズウィーク

6月1日～9日に第14回中国四国地区アーカイブズウィーク事業を行った。これは中四国地区の文書館・公文書館機関が、おおむね6月上旬に一斉に普及・啓発活動を行うもので、本館では「情報と記録～つたえる つなぐ 文書館～」をテーマに、「アーカイブズ展示」として「情報と記録～つたえる つなぐ 文書館～」(参加者446人)、「歴史探究講座」として「毛利家文庫の歴史と山口県文書館」「徳山藩断絶前後の記録～徳山毛利家文庫をひもとく～」(同160人)、「ギャラリートーク」(同127人)、「アーカイブズ歴史小話」(同110人)、「文書館を使ってみよう！」(同24人)、書庫見学ツアー(同58人)などを行い好評であった(参加者計925人)。→P18

調査活動

地方調査員制度による県内史料所在調査への協力助言等を行った。→P12・16

諸家文書の寄贈・寄託

17家から追加分を含めて17件1,111点の寄贈・寄託を受けた。→P12

行政文書・資料の引継ぎ

県庁各課等から行政文書230点、行政資料2,208点を引き継いだ。→P12

整理・保存対策

寄贈・寄託を受けた新収諸家文書の整理を進め、整理の終わったものについては逐次閲覧に供した。また藩政文書、行政文書、行政資料、図書の整理も進めた。→P13・14

資料の活用と保存を図るため、行政文書のうち損傷の顕著なものについて修理を行った。→P14

普及啓発事業

アーカイブズウィークのほか、以下の普及啓発活動を行った。

古文書講座

「古文書基礎講座」「古文書専修講座」「古文書実践講座」の3講座を開設し、通年で「基礎」は18回(2月2回中止)、「専修」は20回、「実践」は10回実施した。→P19

文書館活用講座

教員対象の「授業で使える 文書館活用講座」を8月に2日間実施した。→P19

歴史的公文書等の保存活用のための連絡会議

公文書及び地域に伝存する文書記録類を歴史資料として保存活用することに関して、県及び市町相互の連絡と協調を図り、もって行政の円滑な推進及び文化の発展に寄与することを目的として、10月31日に連絡会議を開催した。→P19

行政文書保存管理研修会

歴史的資料となる行政文書を確実に遺すための研修会を学事文書課の情報公開制度及び個人情報保護制度実務研修会(7月16日)と併せて行った。→P20

利用者

今年度の閲覧者は、1,328人（昨年度 1,850人）、また、資料小展示の観覧者などを加えた入館者は4,054人（昨年度 4,743人）であった。

閲覧者は一般、学生、公務員、教員の順に多い。県外利用者が全体の1/3を占める。

→P14・15

2 収蔵状況

（令和2.3.31現在）

藩政文書	諸家文書	行政文書	行政資料	図書	その他 (特設文庫)	総計
93,512	158,754	80,125	157,714	44,696	22,743	557,544

上記のうち、元年度新たに収蔵（整理、追加登録）した資料の点数は、次のとおりである。

藩政文書	諸家文書	行政文書	行政資料	図書	その他 (特設文庫)	総計
0	1,111	230	2,208	328	2	3,879

3 調査

10月3日 厚狭図書館所蔵文書調査（山陽小野田市青年の家）

4 収集

(1) 諸家文書

(ア) 寄贈

堅田家文書（山口市）	16点
佐伯隆収集史料（追加）	8点
白石健二収集史料（追加）	26点
田中栄一収集文書（追加）	151点
中川七助文書	20点
松前謙助文書	183点
村上家文書（柳井市／追加）	29点
吉永敏男収集文書	20点

（計 453点）

(イ) 寄託

阿川家文書	53点
有馬家文書	34点
大本氏収集文書	12点
金谷家文書	196点
宍戸家文書（山口市／追加）	39点
林家文書（山口市／追加）	111点
古畑家文書（追加）	49点
三輪家文書	88点
山口市仁保一貫野上組共有文書	76点

（計 658点）

(2) 行政文書

各課（所）に廃棄予定文書の引継依頼・協議を行い、230点を引き継いだ。引き継いだ文書の主なものは以下のとおり。

森林整備課	45点
畜産振興課	32点
社会教育・文化財課	29点
高等教育課	18点

(3) 行政資料

冊子・リーフレット・ポスター類	2,208点
-----------------	--------

(4) 図書雑誌

328点

(5) その他（特設文庫）

次の資料を整理し、仮目録に追加登録した。

・一般郷土史料	2点
---------	----

5 整理

(1) 藩政文書

(ア) 徳山毛利家文庫

未整理の徳山毛利家文庫の整理をすすめた。

(2) 諸家文書

次の文書を整理し、仮目録を作成した。

阿川家文書	53点	萩藩士（中間）
有馬家文書	34点	庄屋
大本氏収集文書	12点	コレクション／陪臣（吉敷毛利家臣）ほか
堅田家文書（山口市）	16点	萩藩士（寄組）
金谷家文書	196点	商家／教員
佐伯隆収集史料（追加）	8点	コレクション
宍戸家文書（山口市／追加）	39点	萩藩士（寄組）
白石健二収集史料（追加）	26点	事務職員
田中栄一収集文書（追加）	151点	コレクション／下貼文書
中川七助文書	20点	軍人（海軍機関兵）
林家文書（山口市／追加）	111点	萩藩士（大組）／陪臣（福原家臣）
古畑家文書（追加）	49点	コレクション／両公伝史料／旧役場文書
松前謙助文書	183点	朝鮮総督府検事
三輪家文書	88点	市年寄／庄屋
村上家文書（柳井市／追加）	29点	庄屋／村会議員
山口市仁保一貫野上組共有文書	76点	区有
吉永敏男収集文書	20点	コレクション／旧村役場文書

（計 1,111 点）

(3) 行政文書

令和元年度収集文書 230 点について整理し、仮目録を作成した。

(4) 行政資料

令和元年度収集資料 2,208 点について整理し、仮目録を作成した。

(5) 図書雑誌

令和元年度受入図書 328 点について、追加登録した。

(6) その他（特設文庫等）

令和元年度収集資料 2 点について整理し、仮目録に追加登録した。

6 保存対策

(1) 修理（行政文書）

重要文化財山口県行政文書のうち損傷の著しい 4 冊（県庁戦前 A 士族 148「士族願伺」および県布達類 306・312・314「山口県報」）を修理工房 宰匠株式会社（福岡県筑紫野市）に業務委託し修理した（国庫補助事業 県 50%）。

(2) 資料燻蒸

今年度は、県立山口博物館の燻蒸に併せて、同館の燻蒸庫で 3 回実施した。

7 利用

(1) 文書館利用状況

開館日数 256 日（前年度 276 日）
入館者 4,054 人（前年度 4,743 人）
閲覧者 1,328 人（前年度 1,850 人）であった。

このうち、閲覧者の内訳と閲覧文書点数の状況は、以下（4）及び（5）のとおり。

(2) ホームページ利用者数

平成 15 年 4 月から供用を開始したホームページのアクセス件数は、令和元年度末現在で 1,668,551 件（この 1 年間では 292,403 件）となった。

(3) 調査室（閲覧室）利用者数

区分	入館者	閲覧者	特別使用区分	複写	絵図室	特別室	合計
R 01年度 (H30年度)	4,054 (4,743)	1,328 (1,850)	R 01年度 (H30年度)	947 (1,267)	130 (108)	84 (95)	1,161 (1,470)

(4) 閲覧者数の状況

職業		令和元年度				平成30年度	
		県内(人)	県外(人)	合計(人)	比率(%)	合計(人)	比率(%)
教員	大学	82	79	161	14.7	249	14.7
	小・中・高校	7	4	11		17	
	その他	5	2	7		6	
学生	大学院	13	69	82	22.9	94	22.9
	大学・その他	234	50	284		330	
公務員	国	0	1	1	21.6	9	21.6
	都道府県	46	14	60		195	
	市町村	136	17	153		196	
博物館・研究機関		12	41	53	1.6	30	1.6
報道・出版		19	14	33	4.5	83	4.5
その他一般		357	126	483	34.7	641	34.7
合計		911	417	1328	100.0	1850	100.0
前年度比(%)		66.9	85.8	71.9	—	92.6	—
S44年以来の累計				101,052	—	99,202	—

(5) 閲覧文書点数の状況

区分	令和元年度		平成30年度	
	点数(点)	比率(%)	点数(点)	比率(%)
毛利家文庫	8,304	53.2	8,629	34.2
徳山毛利家文庫	421	2.7	813	3.2
県庁伝来旧藩記録	322	2.1	400	1.6
山口小郡宰判記録	15	0.1	33	0.1
三卿伝史料	175	1.1	96	0.4
両公伝史料	300	1.9	547	2.2
行政文書	1,426	9.1	1,204	4.8
郡役所文書	144	0.9	142	0.6
行政資料	163	1.0	7,764	30.8
諸家文書	2,979	19.1	4,297	17.0
県史編纂所史料	118	0.8	124	0.5
一般郷土史料	132	0.8	292	1.2
その他特設文庫	40	0.3	153	0.6
複写資料	1,028	6.6	653	2.6
図書	35	0.2	58	0.2
その他	5	0.1	20	0.1
合計	15,607	100.0	25,205	100.0
S44～R01年度累計	1,030,566	—	1,014,959	—

(6) 特別利用の状況

区分	特別閲覧	複写	出版物等掲載	模造品製作	貸出	レファレンス件数
R01年度	39	947	284	0	11	903
(H30年度)	(50)	(1,267)	(317)	(0)	(15)	(903)

(7) 貸出

熊本県立美術館	特別展「菊池川 2 千年の歴史 菊池一族の戦いと信仰」 (山内家文書など 3 点)
古河歴史博物館	特別展「鎖国時代 海を渡った日本図」 (毛利家文庫など 3 点)
毛利博物館	企画展「これが萩藩だ」 (毛利家文庫 9 点)
広島県立歴史博物館	企画展「戦国の騒乱から太平の世へ」 (毛利家文庫など 4 点)
熊本県立美術館	特別展「熊本城と武の世界」 (毛利家文庫など 4 点)
山口市歴史民俗資料館	特別展「大内氏のトビラ ー山口をつくった西国大名ー」 (興隆寺文書など 11 点)
須佐歴史民俗資料館	企画展「旦那様がやってきた ー益田から須佐へ 近世益田家の幕開けー」 (増野家文書 3 点)
島根県立石見美術館	特別展「益田氏 VS 吉見氏 ー石見の戦国時代ー」 (益田高友家文書など 6 点)
山陽小野田市歴史民俗資料館	企画展「笠井順八のまちづくり」 (内藤家文書〈神奈川県〉など 4 点)
今治市村上水軍博物館	特別展「村上海賊と呉・松山～瀬戸内海と島々がつなぐ地域～」 (山本家文書〈東京都〉など 3 点)
安芸高田市歴史民俗博物館	企画展「芸石国人高橋一族の興亡」 (出羽家文書など 3 点)

8 刊行物

令和元年度の刊行物

- ① 『山口県文書館研究紀要』第 47 号 (R02.3.30 発行) A5 判 160 頁
- ② 『文書館ニュース』第 54 号 (R02.3.30 発行) A4 判 8 頁

9 地方調査員

(1) 地方調査員会議

第 1 回 令和元年 7 月 2 日 県立山口図書館第 1 研修室

- ・活動報告
- ・地域別打ち合わせ
- ・報告：「山口県文書館地方調査員制度のあゆみ」専門研究員 山本明史
- ・書庫案内：専門研究員 山崎一郎

第 2 回 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施せず)

(2) 地方調査員の文書調査報告実績

地方調査員から延べ 17 日、124 時間の活動実績報告があった。

(3) 地方調査員名簿（任期 平成 31.4.1～令和 3.3.31）

担当地域	氏名	担当地域	氏名
大島	高木泰伸	厚狭	若山さやか
玖珂	惠本洋嗣	豊浦	安富静夫
玖珂	正中克磨	大津	藤井文則
都濃	佐伯 隆	阿武	樋口尚樹

10 広報・普及

(1) 広報活動

『文書館ニュース』第54号（A4判8頁）を発行した。

その他、教育庁、県広報広聴課の広報媒体やイントラ、ホームページ、テレビなどマスコミを使い、諸事業の広報を行った。

(2) 第14回中国四国地区アーカイブズウィーク

6月1日～9日実施。参加者は延べ925人。詳細は以下のとおり。

＜アーカイブズ展示＞6月1日～9日（文書館閲覧室）

「情報と記録 ～つたえる つなぐ 文書館～」

参加者 446人。

＜歴史探究講座＞6月8日（県立山口図書館レクチャールーム）

「毛利家文庫の歴史と山口県文書館」

「徳山藩断絶前後の記録～徳山毛利家文庫をひもとく～」

参加者 160人。

＜ギャラリートーク＞6月8・9日（文書館閲覧室）

館員がアーカイブズ展示の解説を行った（計4回）。

参加者 127人。

＜文書館を使ってみよう！＞6月2・6日（県立山口図書館第1研修室・文書館閲覧室）

館員が文書の取り扱い方や文書館の利用方法をガイドした。

参加者 24人。

＜アーカイブズ歴史小話＞6月10日（県立山口図書館レクチャールーム）

館員が共通テーマに関する話題をリレー形式で紹介した。

参加者 110人。

＜書庫見学ツアー＞6月1～9日（文書館書庫）

館員の解説で、普段公開していない書庫の見学ツアーを行った。（計12回）

参加者 58人。

(3) 資料小展示

閲覧室の入口に設置している展示ケースを使用して、以下の小展示を行った。

期間	展示題目	担当
4月	昭和のやまぐちー昭和39年東京オリンピックのころー	山本
5月	山口県周辺の不老長寿伝承	金谷
6月	徳山毛利家文庫「木箱別置文書」の世界 その1	吉田
7月	改元の伝わり方～萩藩の場合～	山崎
8月	防長と『万葉集』	重田
9月	昭和のやまぐちー昭和39年東京オリンピックのころー (2)	山本
10月	ついに実現！第1回国勢調査	浅川
11月	決戦！船岡山～大内義興 天下分け目の戦い～	和田
12月	猪と鼠 ー江戸時代、闘う村人ー	山崎
1月	徳山毛利家文庫「木箱別置文書」の世界 その2	吉田
2・3月	新世界を伝える	浅川

(4) 古文書基礎講座（於：県立山口図書館第1研修室）

古文書の基礎的な知識を学びたい方を対象に5～1月の毎月第4土曜日に開催した（午前・午後各1回）。受講者は72名。なお、2月はコロナウイルス感染拡大防止のため中止した。実施内容は次のとおり。

日程	主題	講師
5月～9月	古文書に慣れよう	山本
10月～2月	「品定抜書 長柄傘・新作事・御名代事」(多賀社文庫255)	重田

(5) 古文書専修講座（於：県立山口図書館第1研修室）

古文書講座の受講経験などがあり、すでに古文書の基礎的な知識を習得されている方を対象として、5～2月の毎月第2土曜日に開催した（午前・午後各1回）。受講者は72名であった。実施内容は次のとおり。

日程	主題	講師
5月～9月	「徳山事記十一」を読む (毛利家文庫24末家70〈14の12〉)	吉田
10月～2月	村の一年～文字の向こう側にある暮らしを読む～	金谷

(6) 古文書実践講座（於：県立山口図書館第1研修室ほか）

古文書解読の応用力を有している方を対象にグループ学習形式で行うもので、5～2月の毎月第2土曜日（10時～12時）に開催した。受講者は20名であった。実施内容は次のとおり。なお、解読した古文書の釈文は解説をつけて当館Webサイトで公開した。

日程	主題	講師
5月～2月	「明治三年御奥日記」を読む（毛利家文庫19日記50） 「萩藩主参勤交代の記録」を読む（毛利家文庫47参勤11〈7の3〉） 「大野毛利譜録」を読む 一萩藩一門の由緒を示す記録一（毛利家文庫21巨室31〈4の1〉）	山崎・和田

(7) 古文書入門一日教室・読み合わせ会

抽選に漏れた古文書基礎講座応募者を対象に「古文書入門一日教室」（7月）を、同じく古文書専修講座応募者を対象に「読み合わせ会」（第1回9月、第2回2月）をそれぞれ実施した。

(8) 授業で使える 文書館活用講座（於：県立山口図書館第1研修室等）

県内の小・中・高校・特別支援学校の教員を対象に、学校教育に文書館資料を活用する契機を提供することを目的に、8月7～10日の4日間、集中して実施した。「入門コース」「実践コース」の2コース制。受講者はのべ13名で、その内容は次のとおり。なお、実践コースは希望者が無かった。

入門コース

日程	午前	午前・午後	午後
8/6	文書館を知ろう（金谷）	資料の活用方法を学ぼう（山本）	資料を見てみよう（和田）
8/7	資料を見てみよう（吉田・山本・山崎）		

実践コース

日程	午前	午後
8/8	資料の探し方を学ぼう (重田・井関)	授業で使える資料を集めてみよう
8/9	絵図を片手に街を歩こう (山本・重田)	授業で使える資料を集めてみよう 発表会

(9) 歴史的公文書等の保存活用のための連絡会議

公文書館法（昭和 62 年法律第 115 号）および公文書管理法第 34 条（平成 21 年法律第 66 号）の趣旨に基づき、県及び県内の市町が保管する公文書及び地域に伝存する文書記録類を歴史資料として保存活用することに関して、県及び市町相互の連絡と協調を図り、もって行政の円滑な推進及び文化の発展に寄与することを目的として実施している。市町・県等から 31 名の参加があった。

(10) 行政文書保存管理研修会

歴史的資料となる行政文書を確実に遺すための研修会を学事文書課の情報公開制度及び個人情報保護制度実務研修会と併せて行った。

7 月 16 日に実施し、70 名の参加があった。

(11) ウェブサイト

- ①平成 30 年度公開諸家文書 16 家・6,333 点のデータを DB に追加した
- ②荒瀬家文書、清川家文書、一般郷土資料の写真、および柳井市金屋小田家文書の護符写真のデータ計 1,749 点を DB に追加した。
- ③平成 30 年度古文書実践講座の解説成果を PDF データとしてアップした。

11 研究活動

(1) 研究実績（『山口県文書館研究紀要』第 47 号は『紀要』第 47 号と略記した）

- ・金谷匡人
 - 「『防長風土注進案』「風俗」の項 用語集Ⅱ」（『紀要』第 47 号）
 - 「『防長風土注進案』「風俗」の項 用語集 索引」（『紀要』第 47 号 Web 版）
- ・和田秀作
 - 「譜録」長崎首令高亮及び山中八郎兵衛種房の翻刻と紹介（『紀要』第 47 号）
 - 「大内氏の領国支配と人材登用」（大内氏歴史文化研究会編『大内氏の世界をさぐる』勉誠出版 令和元年 7 月）
- ・浅川均
 - 「下関築港騒動 ー地方都市が直面した近代ー」（『紀要』第 47 号）
- ・山崎一郎
 - 「萩藩における「御制法読知」の儀式と幕末一万治三年「当家制法条々」の読み聞かせー」（『紀要』第 47 号）
 - 「近世の鋤押鑪と浜田藩」（島根県古代文化センター研究論集第 24 集『たたら製鉄の成立過程』令和 2 年 3 月）
- ・山本明史
 - 「授業素材としての「月間小展示」紹介（2）」（『紀要』第 47 号）
- ・吉田真夫
 - 「徳山藩「願事録」について」（『紀要』第 47 号）
 - 「徳山藩断絶時における藩士の動向について」（『山口県地方史研究』第 121 号 令和元年 6 月）

- ・重田香澄

「近世多賀社の目録二種について―校割帳改と近世書籍目録―」

(『紀要』第47号)

(2) 研究会等

- ・金谷匡人

岩国市市民大学講座「岩国の伝承 梅雨左衛門のこと」(7/16)

下松地方史研究会秋季特別歴史講演会「海と下松」(10/20)

宮本常一記念館旅学講座「旅人たちと大島」(11/30)

山口県人づくり財団きらり山口ひとものがたりセミナー「『防長風土注進案』で読み解く江戸時代の人々の暮らしⅠ 時の流れと区切り」(1/19)

同上「『防長風土注進案』で読み解く江戸時代の人々の暮らしⅠ 一年の暮らし(正月)」(2/16)

- ・和田秀作

大内文化探訪会公開講座講演「大内輝弘の挙兵とその影響」(9/14)

- ・山崎一郎

島根県古代文化センターテーマ研究「たたら製鉄の成立過程」第6回客員研究員共同研究会報告「近世の鋤押鑪と浜田藩」(8/26)

Ⅲ 令和2年度の計画

1 業務

(1) 保存対策

重要文化財山口県行政文書の修復

(2) 刊行物

『山口県文書館年報（令和元年度）』（デジタル刊行）

『山口県文書館研究紀要』第48号の刊行

『文書館ニュース』第55号の発行

(3) 普及活動

アーカイブズウィーク（対象 一般県民）

令和2年5月30日～6月7日

会場 文書館閲覧室、県立山口図書館レクチャールーム及び研修室等

古文書講座

古文書基礎講座（定員 72名）

会期 令和2年5月～令和3年2月の第4土曜日の午前・午後各1回（計20回）

会場 県立山口図書館研修室

対象 一般

古文書専修講座（定員 72名）

会期 令和2年5月～令和3年2月の第2土曜日午前・午後各1回（計20回）

会場 県立山口図書館研修室

対象 一般

古文書実践講座（定員 21名）

会期 令和2年5月～令和3年2月の第3土曜日（10回）

会場 県立山口図書館研修室

対象 一般

授業で使える 文書館活用講座

会期 令和2年 8月4・5日 Aコース

8月6・7日 Bコース

会場 文書館・県立山口図書館研修室等

対象 県内の小・中・高・特別支援学校の教員

行政文書保存管理研修会（対象 行政機関の担当者）

歴史的公文書等の保存活用のための連絡会議（対象 行政機関等の担当者）

2 職員（令和 2.4.1～）

所属	氏名	主な担当業務
館長（非常勤）	吹屋哲夫	館務統轄
副館長	山崎一郎	業務総合調整・館内管理・予算決算
専門研究員	和田秀作	諸家文書に関すること
〃	浅川 均	行政文書・行政資料に関すること
〃	山本明史	行政文書に関すること
〃	吉田真夫	藩政文書に関すること
〃	河本福美	行政資料に関すること
（兼）総務管理GL	道中久信	総務会計等
（兼）主任	松田晶久	〃
会計年度任用職員	重田香澄	閲覧利用・広報・普及に関すること
〃	廣川智子	閲覧提供業務の補助、文書整理の補助
〃	末廣美都子	〃

3 地方調査員（任期 平成 31.4.1～令和 3.3.31）

担当地域	氏名	担当地域	氏名
大島	高木泰伸	厚狭	若山さやか
玖珂	惠本洋嗣	豊浦	安富静夫
玖珂	正中克磨	大津	藤井文則
都濃	佐伯 隆	阿武	樋口尚樹

4 当初予算（単位：千円）

事業費	予算額（千円）	事業概要
文書館運営費	6,290	運営関係費
文書保存整理刊行費	48	文書の整理等
文化事業費	2,207	古文書講座・文書の修復等
合計	8,545	